

野球における打撃時のトップ位置の研究

人間科学部
スポーツ健康科学科
教授

奥村 浩正



研究シーズの紹介

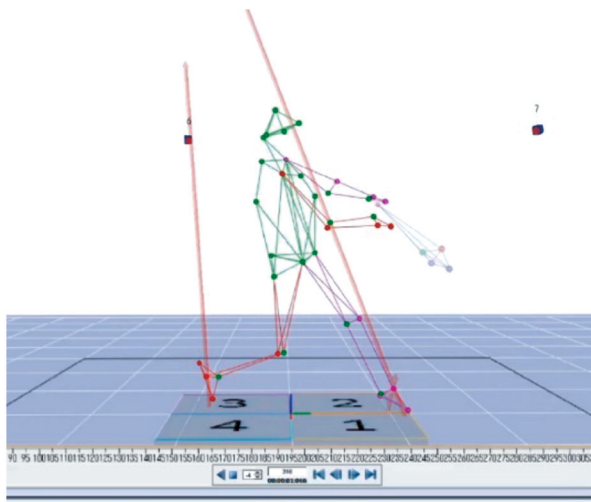
野球における打撃では、投手から投げられたボールを、より強く、正確に打つことが求められる。プロ・アマ問わず打者の打撃フォームを観察すると千差万別であるように思えるが、好打者といわれる選手には共通した動作がある。共通した動作とは、①軸足に体重移動した際、軸足に乗る時間が長いこ

と。②そこでのグリップ位置が捕手側で決して背中側に位置しないこと。③投手側に踏み込む時には、トップの位置からグリップ先行で無駄なく動くこと。などが挙げられる。逆にこういった動作が出来ていない選手はボールを強く、正確に打てていないことが明らかとなった。



打撃理論

- 野球の打撃における基礎的な理論です。小学生から大学生まで幅広く取り入れ可能であり、打撃力向上の一助となります。



期待される活用シーン

- 選手として
- ・ミート率を向上させたい。
- ・強い打球を打ちたい。



打撃の基本となる動きであるため、小学生低学年から実施可能。



打撃の魅力である、強く、速くに飛ばしたいという確率がアップする一助となる。

- 指導者・保護者のみなさん
- ・野球経験が少ないため打撃指導が難しい。



シンプルな理論のため指導しやすい。



同じ基礎理論の基で、小・中・高・大と指導できるメソッド確立が望まれる。

その他の研究テーマ

投球における球質に関する研究